

**産技大enPiT  
プログラムの特徴**

アジャイル開発方法論「スクラム」を軸として、アジャイル開発の本質理解と実践力の獲得を目指します。産業界でのアジャイル開発経験の豊富な講師やenPiT1/2修了生らメンター陣による強力なサポート体制で、チームの自己組織化や継続的な改善を行うための方法を学び、生産的で創造的なものづくりの方法を修得します。チーム開発を円滑に行うための各種のモダンな道具についても理解します。

**取り組みの柱は全国の高等教育機関との連携による夏合宿とFD合宿の開催**

大学院生向け第1期enPiTで形成された大学や企業との連携を強化し、本学プログラム受講生に限らず、広くenPiT受講中の大学生・高専生向けに、アジャイル開発の実践を支援するための教材の提供や講師の派遣、夏合宿への複数校からの参加者受け入れを実施しています。

[本学enPiT受講生] 嘉悦大学4名、東京工芸大学4名 [夏合宿参加校(左記以外)] 琉球大学30名、広島大学8名、九州工業大学5名

また、第2期enPiTの重点項目でもある教員のためのファカルティ・デベロップメントをビジネスシステムデザイン分野においてリードし、教員のみならず企業人や学生も交え、実践教育のための発展的な取り組みについて意見交換するFD合宿を年2回開催しています。



**夏合宿を中心に実践プログラムを構成**

7月～8月(基礎知識学習)

9月(PBL基礎)

10月～12月(発展学習)

成果発表会

アジャイル開発概論

アジャイル  
チームキャンプ

ビジネスシステムデザイン実習  
(分散PBL)

ビデオ教材により、アジャイル開発の歴史的背景や現代的なソフトウェア開発の教養とマインドセットを学びます。

5日間の合宿を通して、チームとしてのアジリティ向上と、チーム開発のための技術習得を行い、自走できるチームを作ります。

アジャイルチームキャンプで習得したチーム開発の手法を実践し、プロダクト開発を通じて自発的、体験的に学びます。計画、開発、レビュー、ふりかえりのスクラムのサイクルを1週間単位で繰り返し、プロダクトのユーザー価値を高めていきます。

1日目  
理論と体験

2日目  
技術と練習

3日目  
実践

4日目  
実践

5日目  
まとめ

アジャイル開発とスクラム概要・アジャイル開発体験ワークショップ

TDD+モブプログラミング

プロダクトデザインとアジャイルな計画づくり・スクラムによるプロダクト開発スプリント1～2

スクラムによるプロダクト開発スプリント3～5

全体ふりかえり

